

# 「歩く県道・東松峠（越後街道）」

地域づくりニュース H30 Vol.1

たばねまつ

## 東松峠とは

東松峠は、会津若松市大町札の辻から新潟県新発田市に至る越後街道上にあり、会津坂下町と西会津町にまたがる峠道です。峠の道中には現在となつては珍しい、完全な形で残る一里塚や、明治時代に地域の人々が人力で掘削し、貫通させた東松洞門などがあり、昔の人々の生活や歴史を感じられる街道となっています。

東松峠の道は、現在、県道別舟渡線の一部となっていますが、車両での通行ができません。福島県では、これを「歩く県道」として整備・利活用し、地域の活性化に繋げる取組をこれまで行っています。

平成29年度からは、地元の「東松峠を護る会」のみなさんが主体となり、峠道の維持、補修作業を行っています。

今年度も、一里塚手前の階段を補修する道普請が行われました。

## 東松峠道普請を行いました

日時：H30.11.11(日)

参加者：東松峠を護る会、東北芸術工科大学、若松測量設計株式会社、会津坂下町、喜多方建設事務所、会津若松建設事務所 参加人数計 20人



一里塚の手前にある急な坂に、階段を整備しました。整備にあたっては、東北芸術工科大学非常勤講師の田賀陽介先生から指導を受けました。

老朽化した、丸太階段を新しい丸太で作り替え、今まで間隔が広がった箇所は段を追加して、細かな一定のリズムでのぼれるよう間隔を工夫しました。路面がしっかりとし、急な坂道もより安全にスムーズに歩けるようになりました。

作業は丸太の切断から防腐処理、設置まで行い、約50段分を行うことが出来ました。

作業完了後、「東松峠を護る会」の方々による蕎麦会が開かれ、新蕎麦をおいしいいただき、参加者は交流を深めました。

御意見・お問い合わせ

福島県会津若松建設事務所 企画調査課 TEL 0242-29-5455 FAX 0242-29-5459

